

登録コード	MA008400	開講年度	2026				
授業科目名	周麻酔期看護学演習					担当教員	田中 聡
英文授業名	Practicum in Perianesthesia Nursing					副担当	石田 高志・伊藤 真理子・石田 公美子・田中 竜介・丸山 友紀
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	不定期	対象専攻／学年	
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	(周麻酔期) 必須科目	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS26カリ(医科学)・医科, MS25カリ(医科学)・医科, MS24カリ(医科学)・医科, MS23カリ(医科学)・医科						
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。					合併症のない患者の周術期麻酔管理を実践できる。	
(2)授業の概要	合併症のない患者の麻酔管理と麻酔の役割の範囲全般について演習を通して学ぶ。 その中から周麻酔期看護師の役割や必要性について考える。 また、周麻酔看護学に関する基本的な技術を習得する。 担当教員の麻酔・周術期医療の実務経験を活かした講義・演習を行う。						
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	合併症のない患者の麻酔管理と麻酔の役割の範囲全般を麻酔科指導医の指導のもとで実践し、周麻酔期看護を科学的、安全性な看護方法を習得できる。						
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	- 合併症のない全身麻酔・局所麻酔の一連の流れや麻酔の役割の範疇の診療について実践を通して理解する。 - 合併症のない全身麻酔・局所麻酔や麻酔診療に伴う周麻酔期看護を科学的根拠に基づき、さらに安全に実施する。						
(5)授業計画	授業日程は受講学生と相談の上決定する。 - 医学部保健学科演習室におけるシミュレーションを通し、周麻酔看護を学ぶ。 - 麻酔科指導医のもとで、術前から術後の麻酔管理の実践を学ぶ。 実習場所：信州大学医学部附属病院手術部，術前外来 - 術前外来における麻酔前評価，麻酔方法の決定と麻酔方法の説明，術前指示，薬剤指示等患者指導について学ぶ。 - 麻薬処方，麻酔記録等の実際について見学を通し学ぶ。 - 病棟術後評価と術後回診，術後管理のポイントを学ぶ。 - 術後集中治療の必要な患者の場合は，集中治療における麻酔管理の実践を学ぶ - 麻酔科指導医のもとで麻酔治療(ブロック)について学ぶ。 実習場所：信州大学医学部附属病院麻酔科外来 - 医学科学学生の実習の一部に代えることがある。 - 麻酔科指導医のもとで緩和ケアの実際について学ぶ。 実習場所：信州大学医学部附属病院がんセンター，病棟 - 実習場所は，状況により変更する。						
(6)授業の進め方	講義と演習で進める。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	各自、毎回課題を出すので、予習、復習を各30分程度行う。						
(8)成績評価の方法	プレゼンテーション、レポート（あるいは課題についての発表）を総合評価し60%以上を合格とする。						
(9)成績評価の基準	レポート、プレゼンテーション両方を50%ずつの配分比率で評価を行い、()課題のまとめ方の内容や発表内容から問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v)その上で自分の見解を提示できており、(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある:秀」、4項目までできていれば「やや上にある:優」、3項目までできていれば「水準にある:良」と判断する。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問、相談については適宜対応する。メールも可能。 麻酔科代表：masui@shinshu-u.ac.jp ・周麻酔期看護学学生対象科目 * 内容が変更になることがある。						
【テキスト，教材，参考書】	適宜，紹介する。						